

## 1 教育理念

- (1) 将来の国家及び社会の形成者として高い学力と教養を身に付け、責任と義務を自覚し、新しい価値を創造して広く社会に貢献できるたくましい人物を育成する。
- (2) 日本の文化と伝統を継承し慈しむ態度及び豊かに生きるための情操を育む。
- (3) 校訓「立志 邁進 才知 共生」を実践する教育を行う。

## 2 目指す学校像

生徒一人ひとりの持つ個性や能力の伸長を図り、高い志を持って21世紀を切り拓く人物を育てる。そのために、教職員が協働して生徒に感動と自己の変化を実感できる教育実践を通し「地域を支え、地域に支えられる」学校作りを展開する。

- (1) 文武両道に励み礼節と勤労を尊ぶ校風を継承・発展させる。
- (2) 社会の一翼を担う覚悟と自己実現のための努力を惜しまない人間を育成する。
- (3) 国際的な視野に立ち、地域の文化・伝統を愛し、地域社会に貢献できる人間を育成する。
- (4) 地域と小・中学校からの信頼と期待に応え、地域に開かれた学校作りを推進する。
- (5) 教職員の研修を充実させ、指導力のある教職員集団をもって組織的に生徒の育成に当たる。

## 3 本年度の重点目標と具体的な取組

### (1) 授業の充実と学力向上

- ①「分かる授業（生徒2年意識調査、国語・数学・英語目標90%）」、「考えさせる授業」を展開し、基礎・基本的な知識や技能を習得させる（2年基礎力確認調査平均正答率、数学目標55%、英語目標55%）。文科省「遠隔授業」研究指定校として教育の質保障を目指す。
- ②目標に準拠した評価、観点別評価を定着させる。県教育センターと研究協力し主体的・協働的学びのアクティブラーニング(AL)を生かし授業を教えるから学び合う場に変える。
- ③朝読書や各教科の図書指導を生かし、思考力・表現力と情報処理能力の育成に努める。
- ④全生徒が実用英語検定試験3級以上に合格できる学習プログラムを展開する（卒業時実用英語検定試験3級以上目標72%）。
- ⑤授業内容の理解を促進する家庭学習の課題を計画的に出し、家庭学習（2年平日家庭学習時間1時間未満目標32%、目標2時間以上20%）の充実を図る。

### (2) 生徒指導の充実、部活動の活性化及び健康な体を育む教育の推進

- ①学校生活のあらゆる場面を通じて基本的生活習慣を確立させ、健やかな心身を育成する。
- ②コミュニケーション能力の基盤となる「挨拶、時間、環境整備」の日常実践を促す。
- ③海外派遣事業等を通して、多角的に考察し行動する能力を伸張させる。
- ④地域活性化に貢献する生徒会行事の運営と委員会活動やボランティア活動を推進する。
- ⑤「部活動の日」「部活動週間」を設定し、部活動の活発化を促進する。
- ⑥指導者のコーチング技術の向上を図り、学習者の力を引き出し自己決定力、自己効力感を会得させ、

問題解決能力及健康で精神的タフネスを持った生徒を育成する。

(3) キャリア教育の推進と進路実現のための指導の充実

- ①「総合生活力」「人生設計力」の育成を図るキャリア教育を充実させる。
- ②生徒理解に努めるとともに諸活動体験を進路選択に連動させ、組織的、計画的かつきめ細やかな進路指導により進路志望実現を図る。
- ③生徒の進路希望に即した各種課外・面接指導・小論文指導を組織的に推進する。
- ④進路情報や進路講演会を活用し、生徒・保護者に職場や上級学校への意識改革を図る。
- ⑤就職先と進学先の追跡調査等を実施し、現役生徒の指導に役立てる。

(目標：国公立大希望者進学達成率 75%を含め進学達成率 100%・就職達成率 100%)

(4) 復興教育、人権教育、主権教育、豊かな心を育む教育の推進及び地域振興への取組

- ①「いわての復興教育」に取り組み、震災復興・地域振興に寄与する人財を育む。地域企業と連携したインターンシップを実施し、地元産業から復興を考察させる。自然災害に「備える」教育、避難訓練等を充実させ、防災意識の涵養と防災・安全教育を推進する。
- ②生徒理解・触れ合いに努める。HRの計画的実施はもちろんのこと、毎日のSHRを十分に活用して心身の悩みに適切に対処する。
- ③朝読書での道徳教材の活用など道徳教育を充実させ、豊かな心を育む(自分にはよいところがあると思っっている生徒の割合目標値 71%)。
- ④生命に対する畏敬、他者との共生、人権尊重の態度の育成などの人権教育、ネット、スマートフォンの利用指導、犯罪の未然防止などの情報モラル教育を推進する。
- ⑤郷土芸能活動や「三陸ジオパーク」推進活動等を通じ、地域理解を深化させる。
- ⑥学校評価等の情報発信を図り、地域に理解され支援される学校作りを行う。
- ⑦地域の小中高大連携を模索する。「小学生理科実験教室」「中高授業交流会」等の小中高連携事業や「小・中・高部活動交流会」等を推進する。
- ⑧主権者教育を計画的・継続的に実施するための具体的な方策を検討する。

(5) 教職員の教育力の向上及び信頼される学校作りの推進

- ①教材研究の徹底とALの研究などOJTによる組織的な授業力向上を主眼とし、日常的な全教科全教員の授業公開のほか年間計画に基づいた授業公開・授業研究に取り組む。
- ②自己評価・学校関係者評価・授業アンケートを行い、学校運営・組織力の改善を図る。
- ③教職員の教育力向上を目指し、AL先進校視察・研修等への派遣を実施する。
- ④時間、物など授業・部活動に集中できる環境を整備して、校務の効率化に努める。
- ⑤教育に対する町民・県民の信頼を確保するためコンプライアンスを推進し、適切堅実な業務環境の構築と不祥事の撲滅を期する。